



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月29日

上場会社名 小林製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4967 URL <http://www.kobayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 豊

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 グループ統括本社本部長 (氏名) 山根 聡

TEL 06-6222-0142

四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	94,828	△7.7	14,615	△12.7	15,968	△7.1	11,606	22.5
24年3月期第3四半期	102,736	0.4	16,743	△0.6	17,185	1.5	9,473	△5.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 11,993百万円 (28.7%) 24年3月期第3四半期 9,319百万円 (19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	283.44	—
24年3月期第3四半期	231.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	151,151	110,356	73.0	2,694.97
24年3月期	147,890	101,879	68.8	2,484.08

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 110,355百万円 24年3月期 101,719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	35.00	—	43.00	78.00
25年3月期	—	39.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	43.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	122,000	△7.0	16,800	△12.9	18,300	△8.9	12,300	4.9	300.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	42,525,000 株	24年3月期	42,525,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	1,576,437 株	24年3月期	1,576,287 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	40,948,580 株	24年3月期3Q	40,948,945 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興需要などに支えられ、景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、個人消費や企業活動は依然厳しく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

そうした状況の中で当社グループは、経営理念である「人と社会に素晴らしい快を提供する」の精神を一層発揮すべきときと考え、顧客の潜在ニーズを満たす新製品やサービスの提供、市場の活性化を促す既存ブランドの育成、今後の成長事業への投資に努めてまいりました。

その結果、売上高は94,828百万円と前年同期と比べ7,908百万円(△7.7%)の減収、営業利益は14,615百万円と前年同期と比べ2,127百万円(△12.7%)の減益、経常利益は15,968百万円と前年同期と比べ1,217百万円

(△7.1%)の減益となりました。四半期純利益においては11,606百万円と前年同期と比べ2,132万円(22.5%)の増益となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

家庭用品製造販売事業

当事業では、新市場の創造と既存市場の拡大に努めた新製品を25品目発売いたしました。なかでも、気軽に新しい香りが楽しめるお部屋用芳香消臭剤「Sawaday Happy (サワデーハッピー)」や、肥満症改善薬「ナイシトールG」が好調に売上を伸ばし、業績に貢献しました。

既存品においては、歯槽膿漏を予防する薬用ハミガキ「生葉」や、虫歯・歯周病の原因となる食べカスや歯垢を除去する歯間清掃具「糸ようじ」・「やわらか歯間ブラシ」、大容量タイプの芳香消臭剤「お部屋の消臭元」・「トイレの消臭元」などの売上が堅調に推移しました。

一方、夏場の天候不順の影響から、衛生雑貨品における額用冷却シート「熱さまシート」や冷却ジェルマット「熱さまひんやりジェルマット」などの暑さ対策製品が苦戦し、売上は前年を下回りました。

その結果、売上高は86,550百万円と前年同期と比べ2,077百万円(△2.3%)の減収、セグメント利益(経常利益)は13,986百万円と前年同期と比べ1,559百万円(△10.0%)の減益となりました。また、営業利益は14,133百万円と前年同期と比べ1,941百万円(△12.1%)の減益となりました。

(売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品	17,607	19.9	17,336	20.0	△271	△1.5
口腔衛生品	12,599	14.2	12,856	14.8	256	2.0
衛生雑貨品	10,980	12.4	10,036	11.6	△944	△8.6
芳香・消臭剤	24,531	27.7	24,548	28.4	16	0.1
家庭雑貨品	3,900	4.4	3,600	4.2	△299	△7.7
食品	7,091	8.0	6,235	7.2	△856	△12.1
カイロ	11,916	13.4	11,937	13.8	20	0.2
合計	88,627	100.0	86,550	100.0	△2,077	△2.3

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計2,413百万円、当第3四半期連結累計期間では計2,328百万円となっております。

通信販売事業

当事業では、栄養補助食品、スキンケア製品等の通信販売を行っており、広告展開やダイレクトメールを中心とした販売促進による、新規顧客の開拓と既存顧客への購入促進に努めました。

化粧品「ヒフミド」や育毛液「アロエ育毛液」については堅調に売上を伸ばしましたが、売上の大半を占める栄養補助食品は苦戦しました。

その結果、売上高は7,587百万円と前年同期と比べ189百万円(△2.4%)の減収、セグメント損失(経常損失)は52百万円と前年同期と比べ35百万円縮小しました。また、営業損失は56百万円と前年同期と比べ34百万円縮小しました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

医療関連事業

当事業では、連結子会社の小林メディカル株式会社が市場の拡大が見込まれる整形外科領域、手術室関連領域に特化する選択と集中を図りました。なお、平成24年5月31日付けで、同社株式の80%を三菱商事株式会社に譲渡したため、同社は連結子会社から持分法適用関連会社となり、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に社名を変更しております。

また、イーベント社については、平成23年7月31日付けで、MBO方式により全株式を譲渡しております。

その結果、売上高は2,144百万円と前年同期と比べ5,763百万円(△72.9%)の減収、セグメント利益(経常利益)は1,038百万円と前年同期と比べ243百万円(30.6%)の増益となりました。なお、営業利益は15百万円と前年同期と比べ189百万円(△92.5%)の減益となりました。

(売上高の内訳)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
小林メディカル	6,687	84.6	1,296	60.5	△5,390	△80.6
イーベント社	427	5.4	—	—	△427	—
その他	792	10.0	847	39.5	54	6.9
合計	7,908	100.0	2,144	100.0	△5,763	△72.9

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

その他事業

上記の3事業をサポートする当事業(運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等)では、各社が独立採算で経営をしているものの、3事業への利益貢献もその目的としており、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は5,238百万円と前年同期と比べ302百万円(6.1%)の増収、セグメント利益(経常利益)は1,228百万円と前年同期と比べ137百万円(12.6%)の増益となりました。なお、営業利益は521百万円と前年同期と比べ34百万円(△6.2%)の減益となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では計4,098百万円、当第3四半期連結累計期間では計4,363百万円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,260百万円増加し、151,151百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(5,485百万円)、受取手形及び売掛金の増加(5,116百万円)、有価証券の減少(9,999百万円)、投資有価証券の増加(14,813百万円)等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ5,216百万円減少し、40,795百万円となりました。主な要因は、未払金の減少(1,807百万円)、未払法人税等の減少(1,369百万円)、賞与引当金の減少(1,100百万円)、退職給付引当金の減少(457百万円)等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8,476百万円増加し、110,356百万円となり、自己資本比率は73.0%となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(8,248百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成24年5月1日付け「平成24年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成25年3月期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)通期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成25年1月29日)公表いたしました「平成25年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,835	37,350
受取手形及び売掛金	32,113	37,230
有価証券	11,004	1,004
商品及び製品	9,505	8,686
仕掛品	457	448
原材料及び貯蔵品	2,049	2,293
繰延税金資産	3,287	3,266
その他	1,353	1,316
貸倒引当金	△69	△60
流動資産合計	102,538	91,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,064	6,286
機械装置及び運搬具（純額）	2,159	2,219
工具、器具及び備品（純額）	1,049	962
土地	3,468	3,500
リース資産（純額）	788	455
建設仮勘定	98	129
有形固定資産合計	13,628	13,552
無形固定資産		
のれん	3,592	3,371
商標権	513	391
ソフトウェア	884	846
リース資産	46	19
その他	249	245
無形固定資産合計	5,287	4,874
投資その他の資産		
投資有価証券	19,131	33,944
長期貸付金	600	874
繰延税金資産	1,302	1,078
投資不動産（純額）	3,103	3,076
その他	2,455	2,347
貸倒引当金	△154	△134
投資その他の資産合計	26,437	41,187
固定資産合計	45,352	59,614
資産合計	147,890	151,151

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,823	12,549
短期借入金	5	1
未払金	14,669	12,862
リース債務	391	304
未払法人税等	4,497	3,128
未払消費税等	382	632
返品調整引当金	1,038	1,093
賞与引当金	2,095	994
資産除去債務	13	10
その他	1,873	1,996
流動負債合計	37,791	33,574
固定負債		
リース債務	483	202
退職給付引当金	5,312	4,854
役員退職慰労引当金	17	17
資産除去債務	87	72
その他	2,318	2,073
固定負債合計	8,220	7,221
負債合計	46,011	40,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	4,219	4,219
利益剰余金	101,127	109,376
自己株式	△4,702	△4,703
株主資本合計	104,094	112,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,998	2,136
繰延ヘッジ損益	△323	△75
為替換算調整勘定	△4,050	△4,048
その他の包括利益累計額合計	△2,374	△1,987
新株予約権	159	—
少数株主持分	—	0
純資産合計	101,879	110,356
負債純資産合計	147,890	151,151

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	102,736	94,828
売上原価	42,814	39,718
売上総利益	59,922	55,110
販売費及び一般管理費	43,179	40,494
営業利益	16,743	14,615
営業外収益		
受取利息	101	139
受取配当金	216	238
受取ロイヤリティー	432	533
不動産賃貸料	206	206
持分法による投資利益	215	522
為替差益	—	114
その他	357	295
営業外収益合計	1,530	2,050
営業外費用		
支払利息	38	20
売上割引	884	593
不動産賃貸原価	57	56
為替差損	64	—
その他	43	26
営業外費用合計	1,087	697
経常利益	17,185	15,968
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	186
子会社株式売却益	—	2,285
受取保険金	25	—
その他	0	180
特別利益合計	27	2,653
特別損失		
固定資産除売却損	51	21
投資有価証券評価損	264	540
投資損失引当金繰入額	8	—
子会社株式売却損	625	—
子会社清算損	0	—
減損損失	1	14
災害による損失	35	—
製品不良関連損失	—	264
事業整理損	—	150
その他	18	66
特別損失合計	1,005	1,058
税金等調整前四半期純利益	16,207	17,563
法人税、住民税及び事業税	5,796	6,243
法人税等調整額	937	△286
法人税等合計	6,734	5,957
少数株主損益調整前四半期純利益	9,473	11,606
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益	9,473	11,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,473	11,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	388	138
繰延ヘッジ損益	△271	106
為替換算調整勘定	△305	1
持分法適用会社に対する持分相当額	34	140
その他の包括利益合計	△153	387
四半期包括利益	9,319	11,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,320	11,993
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,214	7,777	7,908	101,899	837	102,736	—	102,736
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,413	—	—	2,413	4,098	6,511	△6,511	—
計	88,627	7,777	7,908	104,313	4,935	109,248	△6,511	102,736
セグメント利益又は損失 (△)	15,545	△88	794	16,252	1,091	17,344	△158	17,185

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△158百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、一部の事業領域で撤退を行ったことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は1,471百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	家庭用 品製造 販売	通信 販売	医療 関連	計				
売上高								
外部顧客への売上高	84,221	7,587	2,144	93,953	874	94,828	—	94,828
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,328	—	—	2,328	4,363	6,691	△6,691	—
計	86,550	7,587	2,144	96,282	5,238	101,520	△6,691	94,828
セグメント利益又は損失 (△)	13,986	△52	1,038	14,972	1,228	16,200	△232	15,968

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、保険代理業、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△232百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「医療関連事業」において、小林メディカル株式会社の株式の80%を譲渡したことなどにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は3,226百万円減少しております。

なお、小林メディカル株式会社は、平成24年11月1日付けで、日本メディカルネクスト株式会社に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんの金額に重要な変動が生じていないため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。